

鍼灸マッサージ科

学ぶこと



修業年限: **3年**
I部: 9:30-16:40(月-土 週6日制)

あん摩・マッサージ・指圧・鍼・灸を駆使して、患者さまの要望に応えられる人材を育てます。

「あん摩マッサージ指圧(あま指)・鍼・灸」の技術を駆使して、患者さまの疾患や要望に応える専門教育を行います。知識や技術のみの指導にとどまらず、人間性を高める医療教育にも力を注ぎ、将来、幅広い分野で活躍できる人材を育成します。



将来の活躍の場

東洋医学への関心や期待とともに、さらなるニーズが高まっています。

スポーツ分野	介護分野	治療院勤務	病院・クリニック	独立開業
プロ選手や一般愛好家などに対応するトレーナーとして、活躍が期待されます。	在宅訪問介護サービスや通所型介護施設などの福祉介護施設で、ますます期待が高まっています。	肩こりや腰痛をはじめとする、さまざまな疾患や不定愁訴の治療家として力が発揮できます。	整形外科、リハビリテーション科、産後ケア、リンパ浮腫の治療分野において活躍が期待されます。	スポーツ、介護、一般の疾病治療、リラクゼーションなど、幅広い領域で活躍できます。

在校生インタビュー



国家試験合格後の、その先が考えられた授業です。

スポーツトレーナーの学校に通っていましたが、自分の強みをもって伸ばしたいと思い、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の資格取得を目指しています。授業はモニターや模型を使うことで細かい所が具体的にるので、とても分かりやすいです。大好きな診断治療実習をはじめ、毎回の授業は実際の医療現場に立った時のことを想定して役に立ちます。先生も、一人ひとりに目を配ってきめ細かくフォローしてくださいます。ここでしっかり実力をつけて、将来はスポーツ外傷専門の治療院に勤めて、プロアマ問わず子どもから大人までスポーツをしている人たちが全力で動けるようお手伝いをしたいと思っています。

|| 岡田 香里さん

● I部2年生の1週間の時間割(例)

	1 9:30~11:00	2 11:10~12:40	3 13:30~15:00	4 15:10~16:40
月	運動器疾患の診断治療実習	運動器疾患の診断治療実習	経絡治療I	—
火	人体構造機能II	東洋療法実習	中医学I	—
水	運動診断治療学I	東洋医学概論II	現代鍼灸I	—
木	疾病各論II	人体構造機能II	—	—
金	マッサージ実習I	疾病各論III	内科診断学	—
土	総合基礎II(英語II)	—	—	—

※:選択科目など

学びのポイント

あま指・鍼・灸の基礎と実践を幅広く行い臨床対応力を養います。

- 1 附設クリニックとの連携によるあま指臨床実習**
附設クリニックで医師のチェックを受けた患者さまや、地域住民から協力者を募って、応接とあま指施術を行います。
- 2 パラエティーに富んだ特別講座**
学習意欲に応じて、スポーツアロママッサージ、メディカルハーブ、手話講座、古典セミナーなどの講座を受講できます。
- 3 伝統的、現代的な鍼灸治療講座**
治療スタイルの参考となる中医学・経絡治療などを興味にあわせて選択し、各治療法の特長を学びます。

授業の流れ

年次ごとに、基礎、応用、実践へ段階的に積み上げる学習システムです。

1年次	2年次	3年次
あま指、鍼灸の基本技術の学習を通して、医療人としての自覚を持たせます。	臨床医学に基づき、疾病の捉え方、治療法、応接法を学びます。	臨床実習を通し、実践的スキルと患者さまへの対応力を磨きながら国家試験に備えます。

カリキュラム

学習の要となる基礎、専門基礎、専門分野のほかに選択科目などを幅広く揃えたカリキュラムを設置しています。

基礎分野	医療人として、また社会人として求められる一般教養を身につけます。 □総合基礎(生物、化学、心理学、文章表現法、中国語、英語など) ※2年次まで履修。履修免除制度あり。	あま指・鍼灸の専門性を高めるために、進路や適性にあわせて学びます。 □現代鍼灸 □中医学 □経絡治療 □病態生理各論 □特別講座	選択科目など
専門基礎分野	人体の構造と機能、疾病の成り立ち・予防・回復、保健医療と理念を学びます。 □人体構造機能学 □診察総論、疾病各論 □病理学 □リハビリテーション学 □保健と医療 など	あま指・鍼灸の基礎から臨床、実技実習、総合領域を学びます。 □東洋医学概論 □経絡経穴概論 □運動器診断治療学 □症候診断治療学 □社会あはき学 □運動器の診断治療実習 □指圧実習 □あん摩実習 □鍼灸実習 □あま指臨床実習 □鍼灸臨床実習 □総合講座 など	専門分野

授業ピックアップ

患者さまへの対応、あま指・鍼灸施術の技能養成をバランスよく行います。

医療面接基礎	運動器疾患の診断治療実習	あま指臨床実習
<p>治療前の医療面接を想定したロールプレイングを繰り返し、患者さまの声に耳を傾けるコミュニケーション法を学びます。</p>	<p>臨床医学の観点で病気を理解する「運動器診断治療学」を基礎にして、さまざまな疾患に対する鑑別と施術を行う授業です。</p>	<p>教員の指導下で、患者さまの応接、問診、あま指の施術を行います。また、事前準備、話し方、心構えなどの徹底した現場指導も行います。</p>